

第3回 行田らしいまち並みづくりと にぎわい創出基本計画 検討委員会

2014年
1月10日（金）

- （1）モデル地区の方針と具体的施策について
[資料①]
- （2）事業推進に向けたプログラムについて
[資料②]

説明資料

計画の構成

第1章 はじめに（目的・位置づけ）

第2章 前提条件の整理（上位・関連計画の整理）

第3章 まち並みとにぎわいづくりの特性と課題

- ・地域資源の特性
- ・市民意向に関する特性
- ・これまでの取組みの整理
- ・まち並みとにぎわいづくりの課題

第4章 まち並みとにぎわいづくりの方針

- ・行田らしさを活かしたまちづくりとは
- ・地域資源を核としたまちづくりの方針
- ・行田らしさを活かしたまちづくりの方針
- ・地域資源のつながりに関する方針

第5章 モデル地区の概要

- ・モデル地区の選定
- ・モデル地区における市民意向と課題
- ・モデル地区の概要

第6章 モデル地区の方針と具体的施策

- ・モデル地区の方針
- ・施策の展開方向
- ・方針別の具体的施策

第7章 事業推進に向けたプログラム

- ・施策・事業の実現化方策
- ・役割分担とスケジュール
- ・段階的な取組み内容
- ・重点的な取組み

第1回
検討委員
会での検
討内容

第2回
検討委員
会での検
討内容

第3回
検討委員
会での検
討内容

(1) モデル地区の方針と具体的施策について [資料①]

【計画書第5、6章関連】

1. モデル地区の選定

➤ “行田らしさ” が集積している地区

➤ 市民活動が盛んに行われている地区

⇒ 秩父鉄道行田市駅周辺の歴史的建築物が集積する
エリア



2. モデル地区の方針と目標

方針1：人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり

目指すべき目標：まちづくり活動の参加者を増やす
【現状値：32.0%（平成21年度）】

方針2：歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり

目指すべき目標：歴史的なまちづくりに興味を持つ人を増やす
【現状値：32.8%（平成25年度）】

方針3：水と緑がうるおいをもたらす四季を感じるまち並みづくり

目指すべき目標：緑化活動や美化活動に興味を持つ人を増やす【現状値：26.3%（平成25年度）】

方針4：暮らしと交流が調和したにぎわいづくり

目指すべき目標：訪れたい、住みたいと思う人を増やす【現状値：9,674人（平成22年度）】

2. 方針別の施策体系及び具体的施策

方針 1 人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり

- 1-1 住み易く、住み続けたいまちに向けた仕組みづくり及び協議会などの設置
- 1-2 地域におけるまち並み点検
- 1-3 地域資源の発掘とリスト化
- 1-4 既存施設や歴史的建築物を活用したまちづくり活動の支援
- 1-5 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援



方針 1 人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり

- 1-6 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援
- 1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援
- 1-8 集客のためのイベントの企画・実施
- 1-9 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援
- 1-10 地域における空き地や道路空間の管理・保全
- 1-11 まちづくり活動やイベントの情報発信
- 1-12 まちづくりニュース等の発行によるまちづくり意識の醸成



方針2 歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり

- 2-1 景観形成に関するルールづくり
- 2-2 足袋蔵等の歴史的建築物の保存及び活用
- 2-3 歴史的建築物周辺のまち並み環境の整備
- 2-4 歴史的なまち並みの修景（外観や塀）



方針2 歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり

- 2-5 商店街におけるにぎわいと歴史が感じられる店舗前空間の形成
- 2-6 回遊するための道路の美装化及び電線類の地中化
- 2-7 まち並みのライトアップ及び歩道用照明の設置
- 2-8 歴史的建築物等の案内表示と誘導サインの統一
- 2-9 ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備



方針3 水と緑がうるおいをもたらす四季を感じるまち並みづくり

- 3-1 憩う場所としての水辺空間の環境整備
- 3-2 幹線道路沿道の街路樹の保全と整備
- 3-3 寺社仏閣等のまとまった緑の保全
- 3-4 緑豊かなポケットパークや広場の整備



方針4 暮らしと交流が調和したにぎわいづくり

- 4-1 都市機能の集約に向けた生活関連施設の充実
- 4-2 空き地や空き家を活用したコミュニティスペース等の滞在空間の整備
- 4-3 空き店舗を活用した商店街の活性化
- 4-4 若者の定住促進
- 4-5 地元の素材を使った特産品の開発及び販売



3. 施策展開の方針

(1) 施策の展開方向

【軸の方針】

① にぎわいや歴史・文化が感じられるまち並み軸

- ◆本町通り周辺のまち並み軸
- ◆秩父鉄道行田市駅から新町通り周辺のまち並み軸

② 水辺のまち並み保全・形成軸

- ◆忍川周辺の水辺空間軸

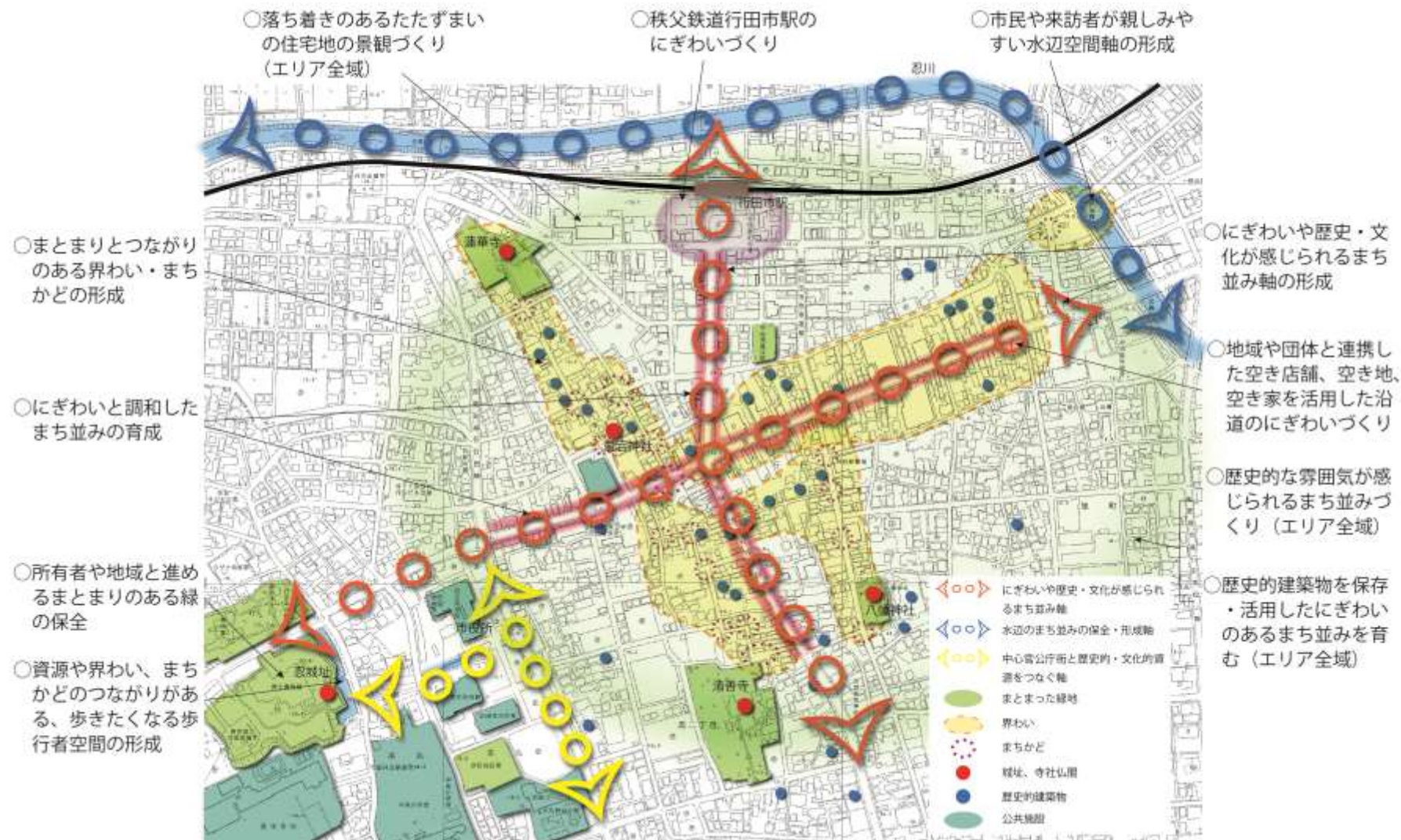
③ 中心官公庁街と歴史的・文化的資源をつなぐ軸

- ◆中心官公庁街周辺の都市機能集積軸

【界わい・まちかどの方針】

- ◆北谷通りと蓮華寺通り周辺の界わい・まちかど
- ◆新店通り周辺の界わい・まちかど
- ◆八幡通り周辺の界わい・まちかど

■モデル地区の施策展開方針図



(2) 軸の具体的施策

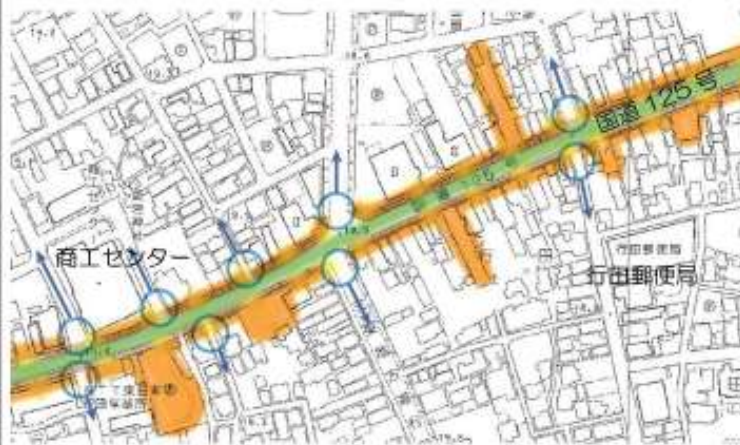
① にぎわいや歴史・文化が感じられるまち並み軸

【本町通り周辺のまち並み軸】

国道125号周辺の市の中心的な軸として、童・銅人形や点在する歴史的建築物を活用したまち並みづくりと空き地等を活用したにぎわいの創出を図ります。

忍城址と公共施設とのつながりを強化し、“まちなかの顔”をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策

歴史的建築物を活かした景観形成のルールづくり



街路樹と植栽による通りの連続性の創出



沿道の童・銅人形や空き店舗等を活用したイベントの実施



段差を無くした歩きやすい歩道の整備



まち並みと歩道のライトアップによる演出



空き店舗や空き地等を活用した休憩場所の設置

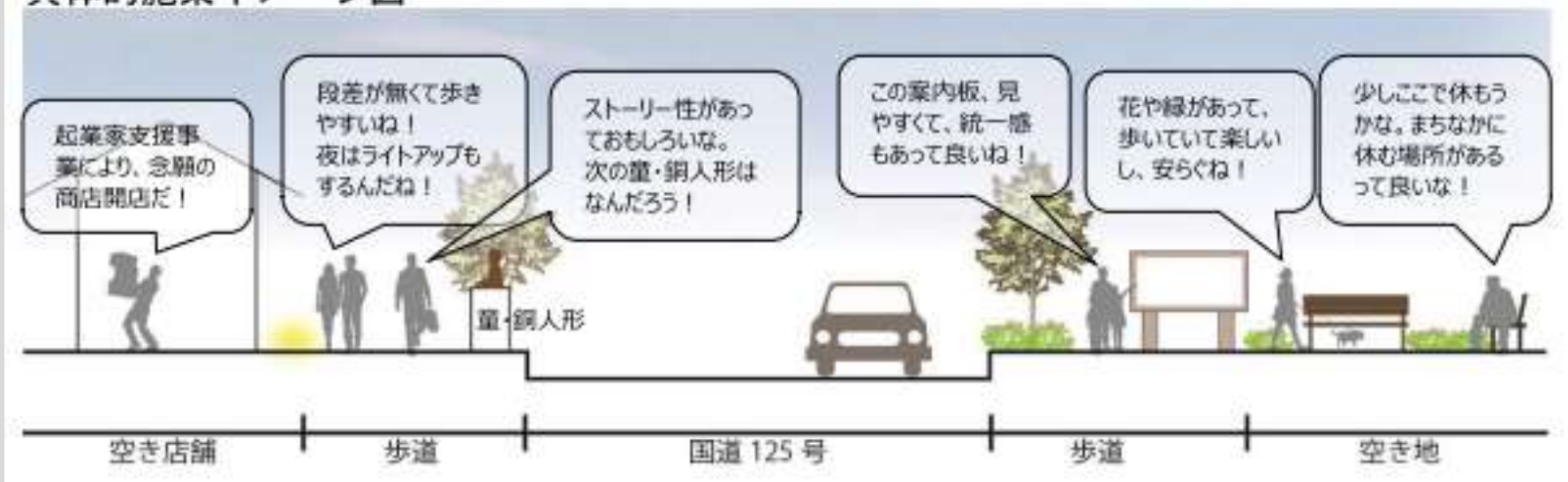


分かりやすく、統一感のある案内表示の設置



【本町通り周辺のまち並み軸】

具体的施策イメージ図



【秩父鉄道行田市駅から新町通り周辺のまち並み軸】

行田市駅から商店街をつなぐにぎわいの軸として、点在する歴史的建築物や空き店舗を活用したまちづくりを図ります。

地域の玄関口からのにぎわいの連続性をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策

チャレンジショップや地域の特産品を販売する屋台村の設置等による空き店舗や空き地等の活用



商店街における店舗前空間の整備



景観形成のルールづくりと電線類の地中化



市民活動と商店街・商店との連携による多様な空き店舗活用



歴史的なまち並みの修景（外観や塀）整備

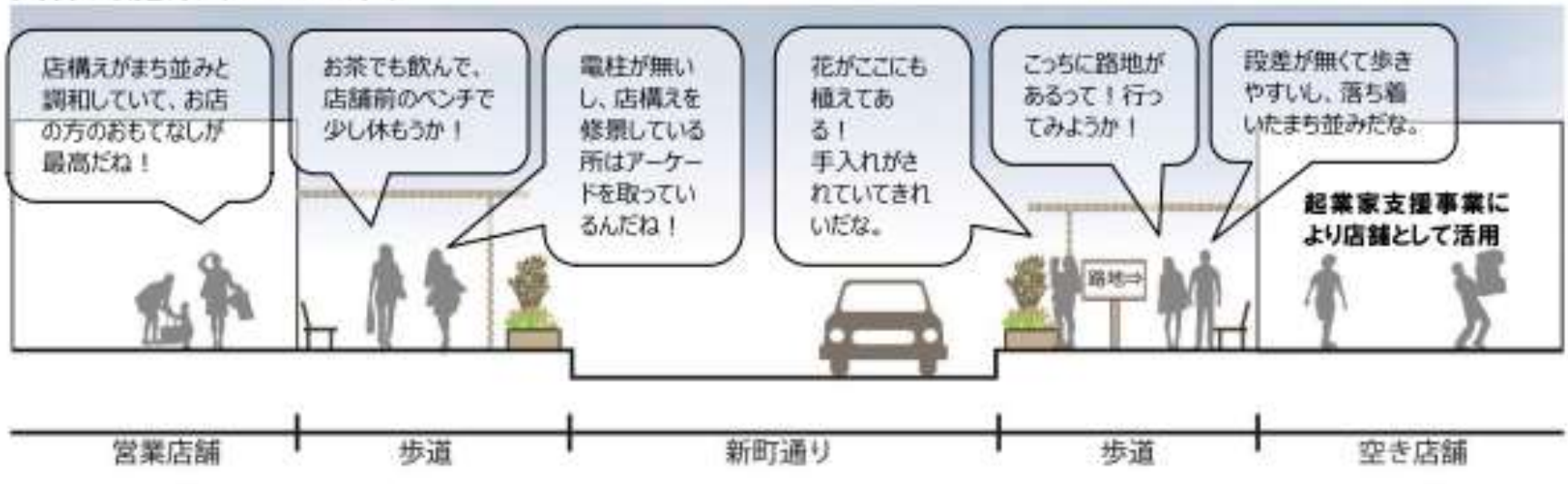


分かりやすく、統一感のあるサインの設置



【秩父鉄道行田市駅から新町通り周辺のまち並み軸】

具体的施策イメージ図



【段階的な空間形成イメージ】

現在の状況

- 空き店舗が多く、シャッターにより、にぎわいの連続性に欠ける。
- アーケードにより、歴史的建築物のファサード¹⁾が隠れている。
- 街路樹の枝が切られ、歩行者空間に緑が少ない。



【段階①】

■市民・事業者の取り組み

- ・ 空き店舗を地域のまちづくり活動の場として活用
- ・ 店舗前空間に花壇などによる緑化
- ・ 歩行者空間に休憩場所（ベンチ等）を設置
- ・ 景観ルールにより、落ち着いた色彩に統一
- ・ 建築物の修景整備



【段階②】

■行政による空間整備

- ・ 建築物の修景整備の支援
- ・ 電線類の地中化
- ・ アーケードの一部撤去（歴史的建築物のファサードの見える化）
- ・ 街路樹として低木を植樹

1) ファサード：建物の正面をなす外観のこと。

① 水辺のまち並み保全・形成軸

【忍川周辺の水辺空間軸】

忍川を中心に、潤いやすがすがしさが感じられ、誰もが親しみやすい水辺空間を形成します。

水と緑が潤う、癒しの滞留空間をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策

遊歩道の清掃や樹木等の維持・管理



親水空間を活用したイベントの実施



地域や来訪者の憩いの場所となる親水護岸の整備



既存のポケットパークの環境維持・管理による、地域や来訪者が滞留したくなる空間の形成

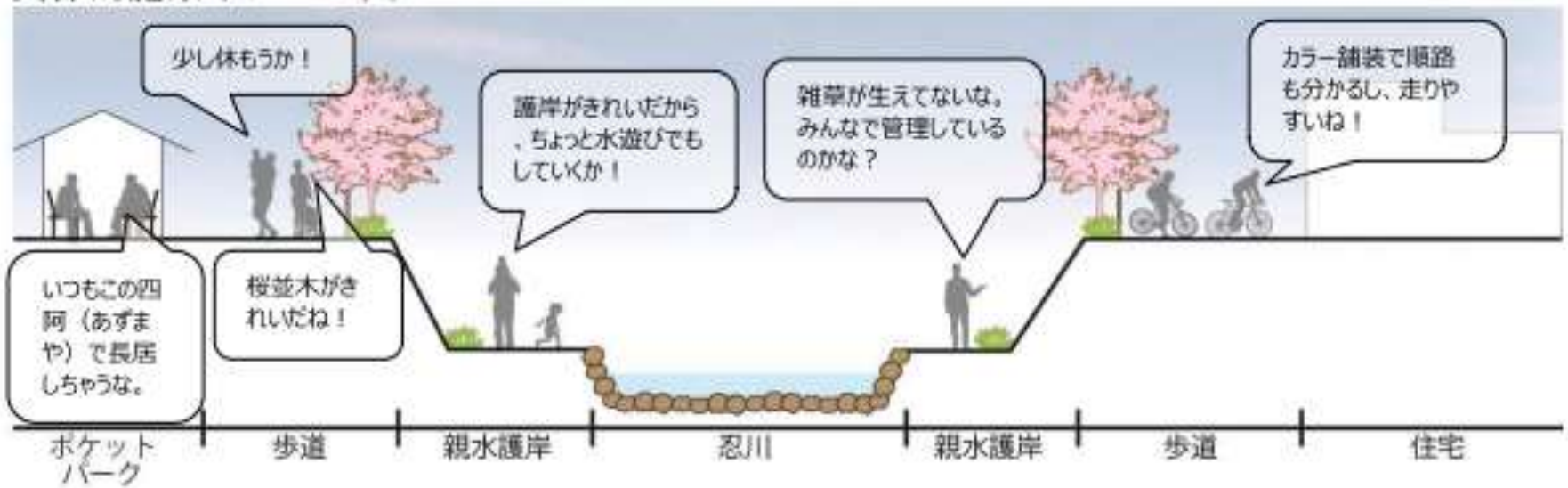


魅力ある、川沿いの遊歩道（カラー舗装）の整備



【忍川周辺の水辺空間軸】

具体的施策イメージ図



① 中心官公庁街と歴史的・文化的資源をつなぐ軸

【中心官公庁街周辺の都市機能集積軸】

中心官公庁街、忍城址や水城公園等との連携を強化し、都市機能が集積した、にぎわいに満ちた回遊しやすい空間と快適な街路空間を形成します。

回遊性があり、水と緑に親しめる街路空間をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策

ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の充実



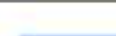
市民との協働による緑化の推進



幹線道路沿道の街路樹の保全と整備



資源間をつなぐ回遊性ネットワークの強化のためのせせらぎの整備

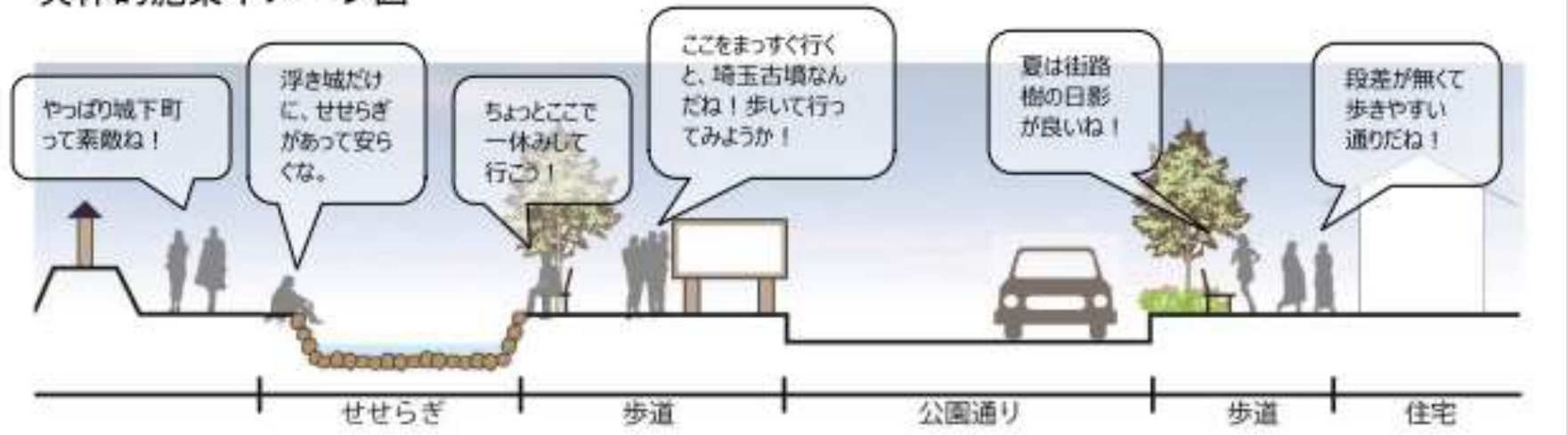


せせらぎや遊歩道の整備による憩う場所としての水辺空間の環境整備



【中心官公庁街周辺の都市機能集積軸】

具体的施策イメージ図



(3) 界わい・まちかどの具体的施策

【北谷通りと蓮華寺通り周辺の界わい・まちかど】

足袋蔵等を活用したまち並みづくりと連続性とまとまりのある生活環境と調和した界わいの形成を図ります。

伝統文化などを体感する交流空間をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策

体験施設の充実等によるにぎわいの再生



歴史的建築物等の保全・活用・維持管理の支援



歴史的なまち並みづくりに向けた外観や塀の補修



まちかど空間の建物の塀や工作物の修景

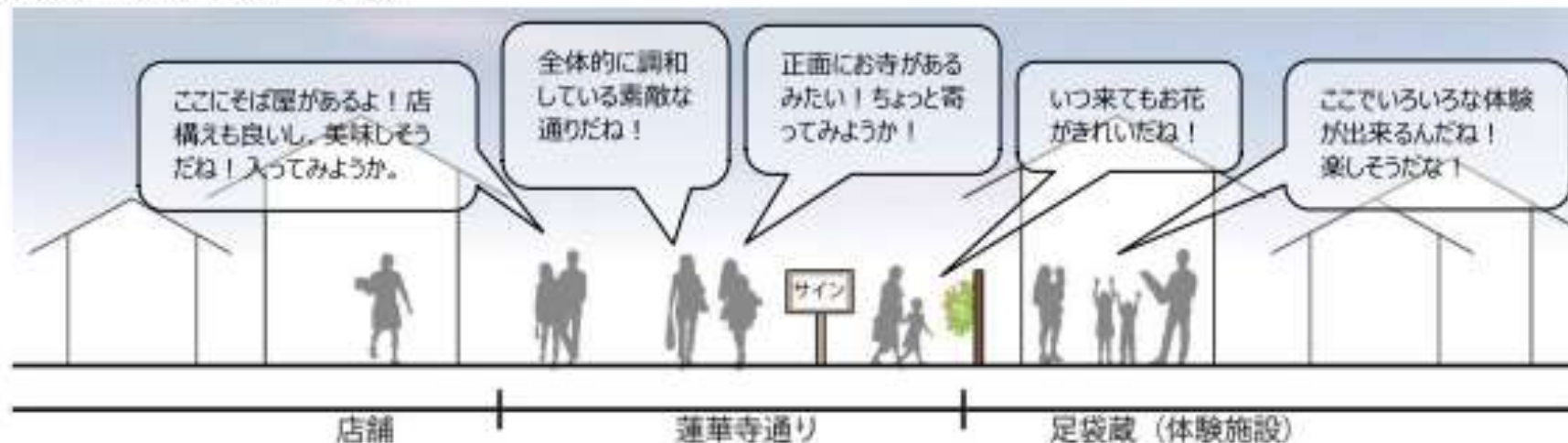


わかりやすいサインの整備



【北谷通りと蓮華寺通り周辺の界わい・まちかど】

具体的施策イメージ図



【新店通り周辺の界わい・まちかど】

歴史的建築物や空き地を活用したまち並みづくりと昔の鍵曲がりの町割りを活かした界わいの形成を図ります。

市民との協働による、にぎわいのある城下町の散策路をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策	
市民との協働による路地空間の緑化の推進	—
わかりやすく統一感のあるサインの整備	○
建物の修景（外観や塀）整備	□
歴史的建築物周辺の舗装の美装化等による、まち並みや環境の整備・管理	—
低利用地の活用によるにぎわいある交流空間の創出	□

【新店通り周辺の界わい・まちかど】

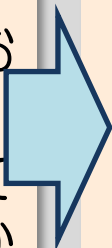
具体的施策イメージ図



【段階的な空間形成イメージ】

現在の状況

- ・空き地が点在している。
- ・足袋蔵などの歴史的建築物が立地している。
- ・緑が少なく、うるおいに欠けている。
- ・昔の町割りが残っているが、幹線道路から分かりにくい。



【段階①】

■市民・事業者の取り組み

- ・空き地の管理・緑化整備
- ・空き地への花壇などによる緑化
- ・歩行者空間への緑化
- ・移動図書館やチャレンジショップ、仮設カフェの設置
- ・足袋蔵の改修・整備



【段階②】

■行政による空間整備

- ・足袋蔵等の改修・整備の支援
- ・石畳等による歴史的街路整備
- ・まちかどへの観光誘導サインの設置
- ・ポケットパークへの休憩施場所の設置

【八幡通り周辺の界わい・まちかど】

忍城址等とのつながりを強化し、地域のにぎわい創出と歩行者空間の形成を図ります。

にぎわいを体感できる歩行者目線の散策路をつくる！

具体的施策展開図



主な具体的施策

市民との協働による路地空間の緑化の推進



案内表示と誘導サインの整備



ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備



歴史的建築物周辺の舗装の美装化等による、まち並み環境の整備・管理



【八幡通り周辺の界わい・まちかど】

具体的施策イメージ図



(2) 事業推進に向けたプログラムについて [資料②]

【計画書第7章関連】

1. 施策・事業の実現化方策

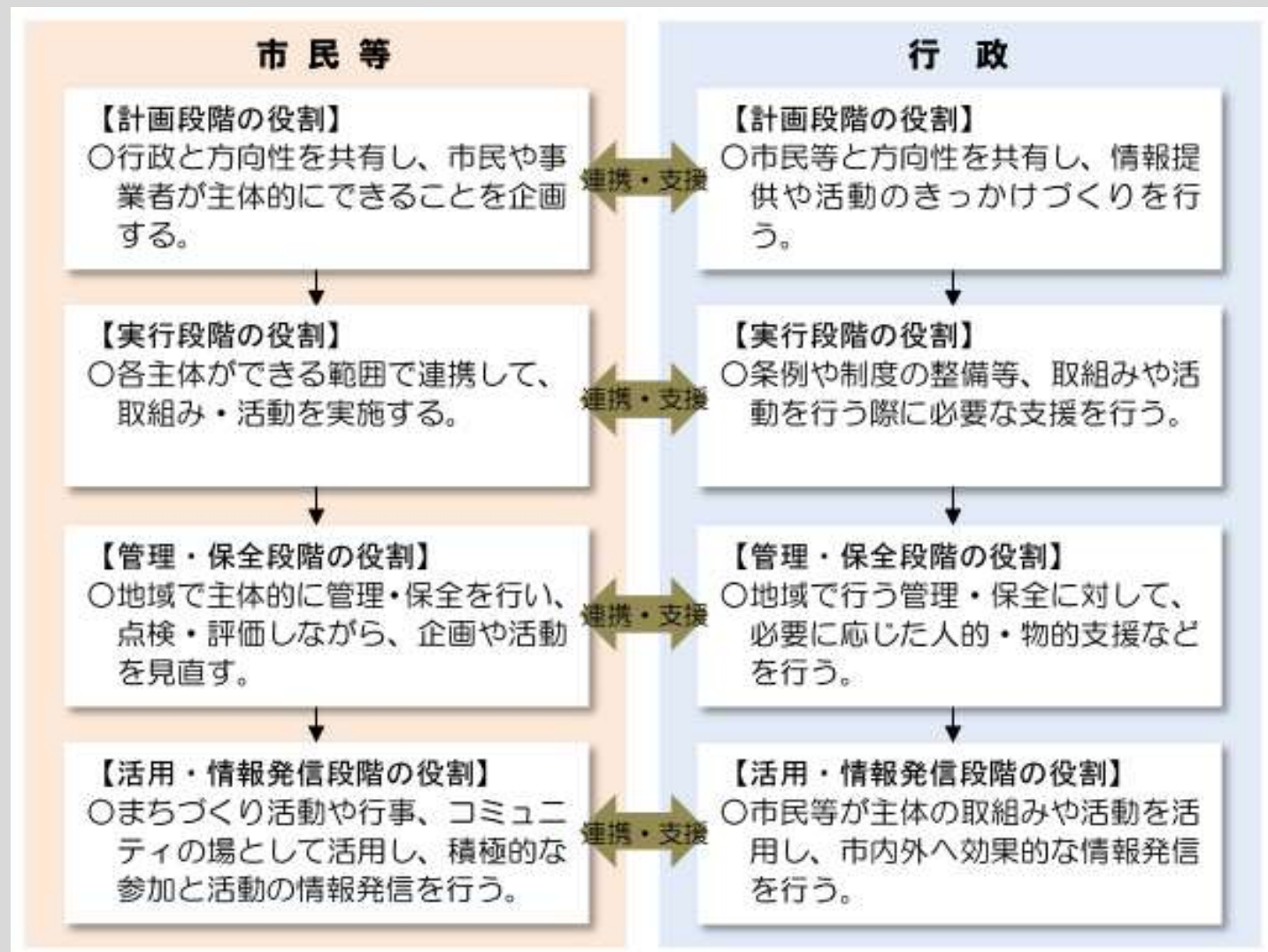
(1) 実現化に向けた基本的な考え方

段階的に産（事業者等）官（行政）学（大学）民（市民）の連携によるまちづくりを推進します。

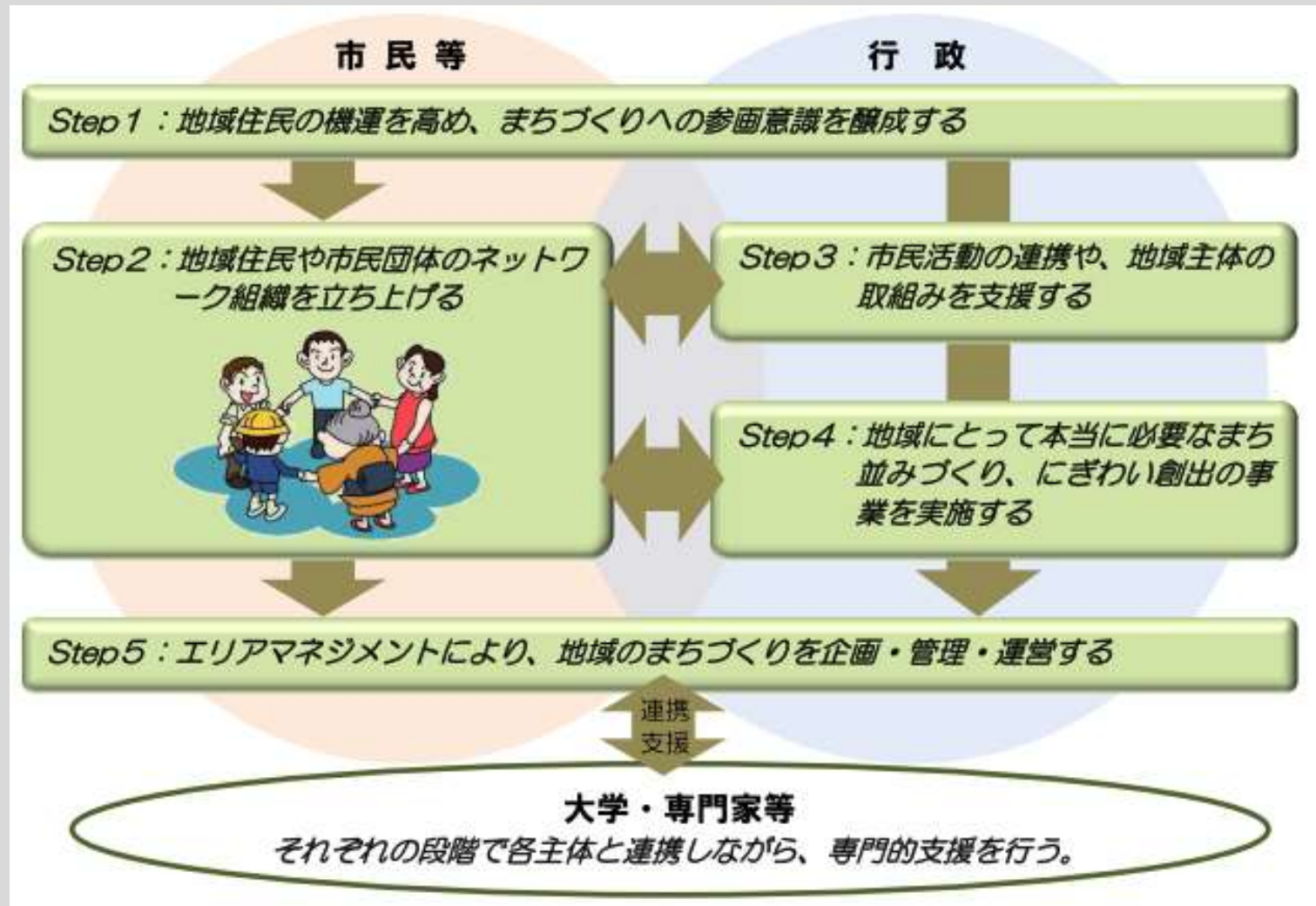
■市民等と行政の基本的役割と各主体との連携体制



■各段階における市民等と行政の関わり方



(2) 実現化の流れ



Step 1 : 地域住民の機運を高め、まちづくりへの参画意識を醸成する

【市民等の役割】

- ・自分たちが住む地域のまちづくりについて主体的に考える。
- ・主体的な取り組みや活動を企画・実践し、地域住民に発信する。

【行政の役割】

- ・まちづくりの情報を発信したり、まちづくりへ参画するきっかけをつくる。

Step 2 : 地域住民や市民団体のネットワーク組織を立ち上げる

【市民等の役割】

- ・ネットワークの場に積極的に参加し、地域情報を共有する。
- ・ネットワークを通じた協議会を立ち上げる。

【行政の役割】

- ・市民等が情報共有し、企画を立案するネットワークの場をつくる。

Step 3 : 市民活動の連携や、地域主体の取組みを支援する

【市民等の役割】

- ・ネットワークの場に積極的に参加し、地域情報を共有する。
- ・ネットワークの場から協議会を立ち上げる。

【行政の役割】

- ・市民等の主体的な取組みや活動を支援するための国等の支援事業の紹介や市による新たな支援事業を検討する。

Step 4 : 地域にとって本当に必要なまち並みづくり、にぎわい創出の事業を実施する

【市民等の役割】

- ・空き店舗や空き地活用、まちづくり活動等に取り組み、行政が実施する事業に対して、利用する立場からの提案を行う。

【行政の役割】

- ・市民等の主体的な取組みと連携して、効果的な施設や街路等の整備を実施する。

Step5 : エリアマネジメントにより、地域のまちづくりを企画・管理・運営する

【市民等の役割】

- 地域主体で事業実施後における保全・管理を行う。
- 活動の情報発信や地域の点検を行いながら、新たな取り組みや活動を企画する。

【行政の役割】

- エリアマネジメント組織と連携し、地域における管理・保全に対する支援を行う。

2. 段階的な取組内容

■段階的な取組内容と優先度（その1）

■段階的な取組内容と優先度（その1）

施 策	STEP1 地域住民の機運を高め、 まちづくりへの参画意識 を醸成する	STEP2 地域住民や市民団体のネ ットワーク組織を立ち上 げる	STEP3 市民活動の連携や、地域 主体の取組みを支援する	STEP4 地域にとって本当に必要 なまち並みづくり、にぎ わい創出の事業を実施す る	STEP5 エリアマネジメントによ り、地域のまちづくりを 企画・管理・運営する	優先度
方針1 人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり						
1-1 住み易く、住み続けたいまちに向けた仕組みづくり及び協議会などの設置		●			●	◎
1-2 地域におけるまち並み点検	●				●	△
1-3 地域資源の発掘とリスト化	●				●	○
1-4 既存施設や歴史的建築物を活用したまちづくり活動の支援			●			◎
1-5 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援			●			◎
1-6 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援			●			△
1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援			●			△
1-8 集客のためのイベントの企画・実施			●			△
1-9 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援			●			△
1-10 地域における空き地や道路空間の管理・保全					●	○
1-11 まちづくり活動やイベントの情報発信					●	◎
1-12 まちづくりニュース等の発行によるまちづくり意識の醸成	●				●	◎
方針2 歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり						
2-1 景観形成に関するルールづくり			●			○
2-2 足袋蔵等の歴史的建築物の保存及び活用			●	●		◎
2-3 歴史的建築物周辺のまち並み環境の整備				●		○
2-4 歴史的なまち並みの修景（外観や塀）			●			○
2-5 商店街におけるにぎわいと歴史が感じられる店舗前空間の形成			●			◎
2-6 回遊するための道路の美装化及び電線類の地中化				●		○
2-7 まち並みのライトアップ及び歩道用照明の設置				●		△
2-8 歴史的建築物等の案内表示と誘導サインの統一			●	●		◎
2-9 ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備				●		◎
【再掲】1-2 地域におけるまち並み点検	●					△
【再掲】1-5 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援			●			△
【再掲】1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援			●			△

優先度：◎＝ワークショップ提案より優先度が高い施策 ○＝◎以外で優先的に取り組む施策 △＝市民等と検討・調整を行いながら進めていく施策

■段階的な取組内容と優先度（その2）

■段階的な取組内容と優先度（その2）

施策	STEP1 地域住民の機運を高め、まちづくりへの参画意識を醸成する	STEP2 地域住民や市民団体のネットワーク組織を立ち上げる	STEP3 市民活動の連携や、地域主体の取組みを支援する	STEP4 地域にとって本当に必要なまちづくり、にぎわい創出の事業を実施する	STEP5 エリアマネジメントにより、地域のまちづくりを企画・管理・運営する	優先度
方針3 水と緑がうるおいをもたらす四季を感じるまち並みづくり						
3-1 憩う場所としての水辺空間の環境整備				●		◎
3-2 幹線道路沿道の街路樹の保全と整備				●	●	○
3-3 寺社仏閣等のまとまった緑の保全					●	◎
3-4 緑豊かなポケットパークや広場の整備				●		◎
【再掲】1-3 地域資源の発掘とリスト化	●					○
【再掲】1-6 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援			●			△
【再掲】1-9 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援			●			△
方針4 暮らしと交流が調和したにぎわいづくり						
4-1 都市機能の集約に向けた生活関連施設の充実				●		◎
4-2 空き地や空き家を活用したコミュニティスペース等の滞在空間の整備				●		◎
4-3 空き店舗を活用した商店の活性化			●			◎
4-4 若者の定住促進			●			○
4-5 地元の素材を使った特産品の開発及び販売			●			△
【再掲】1-5 地域資源を紹介する観光ガイドの作成及び歴史と文化を継承する活動の支援			●			△
【再掲】1-9 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援			●			△
【再掲】2-1 景観形成に関するルールづくり			●			○
【再掲】2-8 歴史的建築物等の案内表示と誘導サインの統一			●	●		◎
【再掲】2-9 ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備				●		○
【再掲】3-4 緑豊かなポケットパークや広場の整備				●		◎

優先度：◎＝ワークショップ提案より優先度が高い施策 ○＝◎以外で優先的に取り組む施策 △＝市民等と検討・調整を行いながら進めていく施策

3. 役割分担とスケジュール

■施策別の役割分担

■施策別の役割分担

施策（再掲は除く）	役割				スケジュール				
	住民	団体	事業者	行政	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	中期（H29～H31 年）	長期（H32～H34 年）
方針 1 人が主体となり、地域を考え、育てるまちづくり									
1-1 住み易く、住み続けたいまちに向けた仕組みづくり及び協議会などの設置	●	●	●	△			■■■■■	■■■■■	■■■■■
1-2 地域におけるまち並み点検	●	●	●	△				■■■■■	■■■■■
1-3 地域資源の発掘とリスト化	●	●		△			■■■■■	■■■■■	■■■■■
1-4 既存施設や歴史的建築物を活用したまちづくり活動の支援		●		△			■■■■■	■■■■■	■■■■■
1-5 地域資源を紹介する観光ガイドの育成及び歴史と文化を継承する活動の支援	□	●		△		■■■■■		■■■■■	■■■■■
1-6 歩行者空間や空き地等における緑化活動の支援	●		●	△				■■■■■	■■■■■
1-7 歩きたくなるまちに向けたまちなかの美化活動の支援	●		●	△				■■■■■	■■■■■
1-8 集客のためのイベントの企画・実施	●	●		●			■■■■■	■■■■■	■■■■■
1-9 文化財及び地域資源を活用したまちづくり活動の支援	□	●	●	△			■■■■■	■■■■■	■■■■■
1-10 地域における空き地や道路空間の管理・保全	●	●		△			■■■■■	■■■■■	■■■■■
1-11 まちづくり活動やイベントの情報発信		●	●	△			■■■■■	■■■■■	■■■■■
1-12 まちづくりニュース等の発行によるまちづくり意識の醸成	□	□	□	●			■■■■■	■■■■■	■■■■■
方針 2 歴史と文化の香りが漂う歩きたくなるまち並みづくり									
2-1 景観形成に関するルールづくり	●	●	□	△			■■■■■	■■■■■	■■■■■
2-2 足袋蔵等の歴史的建築物の保存及び活用	●	●		●			■■■■■	■■■■■	■■■■■
2-3 歴史的建築物周辺のまち並み環境の整備	□	□	□	●			■■■■■	■■■■■	■■■■■
2-4 歴史的なまち並みの修景（外観や塀）	●			△			■■■■■	■■■■■	■■■■■
2-5 商店街におけるにぎわいと歴史が感じられる店舗前空間の形成	□	●	●	△			■■■■■	■■■■■	■■■■■
2-6 回遊するための道路の美装化及び電線類の地中化	□			●			■■■■■	■■■■■	■■■■■
2-7 まち並みのライトアップ及び歩道用照明の設置	□			●				■■■■■	■■■■■
2-8 歴史的建築物等の案内表示と誘導サインの統一	●	●		●			■■■■■	■■■■■	■■■■■
2-9 ユニバーサルデザインによる歩行者空間等の整備	□			●			■■■■■	■■■■■	■■■■■

●：主体 □：連携 △：支援

■■■■■：実施計画策定期間

■■■■■：主な事業・活動実施期間

■■■■■：継続期間

■ 施策別の役割分担

施策	役割				スケジュール				
	住民	団体	事業者	行政	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	中期 (H29～H31 年)	長期 (H32～H34 年)
方針 3 水と緑がうるおいをもたらす四季を感じるまち並みづくり									
3-1 憩う場所としての水辺空間の環境整備	□	□		●					
3-2 幹線道路沿道の街路樹の保全と整備	□		□	●					
3-3 寺社仏閣等のまとまった緑の保全	●	□	□	△					
3-4 緑豊かなポケットパークや広場の整備		□	□	●					
方針 4 暮らしと交流が調和したにぎわいづくり									
4-1 都市機能の集約に向けた生活関連施設の充実	□	□	●	●					
4-2 空き地や空き家を活用したコミュニティスペース等の滞在空間の整備	□	●	□	●					
4-3 空き店舗を活用した商店の活性化		□	●	△					
4-4 若者の定住促進	●		●	△					
4-5 地元の素材を使った特産品の開発及び販売		□	●	△					

●: 主体 □: 連携 △: 支援

 : 実施計画策定期間
 : 主な事業・活動実施期間
 : 継続期間

4. 重点的な取組み

(1) 重点的に取り組む箇所

- 重点箇所A（本町通り及び新町通りまでの軸）
- 重点箇所B（新店通り周辺の界わい・まちかど）
- 重点箇所C（北谷通り及び蓮華寺通り周辺の界わい・まちかど）



5. PDCAによる進行管理

